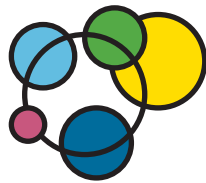


そわにえ
Soigner



第21号

「Soigner (ソワニエ)」とは、「世話をする・手当てする」という意味のフランス語です。

2011年6月20日発行

発行/東京訪問看護ステーション協議会(責任者 嶋森好子)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17 (社)東京都看護協会内
TEL: 03-5229-1281 / FAX: 03-5229-1524
http://www.tokyohoukan-st.jp

INDEX/	ブロック会報告 ……③
ぼん・くらーじゅ ……①	ステーション紹介 ……④
総会報告 ……②	座談会 ……⑥
災害時の対応について ②	編集後記他 ……⑧



歩行者天国で賑わう休日の秋葉原

訪問看護は
看護実践のロールモデル

東京訪問看護ステーション協議会

顧問 長谷川 美津子
(元東邦大学医学部看護学科教授)



会員の皆さま、今年度から顧問として会に参加させていただくことになりました長谷川です。精一杯、勤めてまいりますので、よろしくお願い致します。

私の在宅看護との関わりは、1984年、病院から神経難病療養者への訪問看護が始まりです。1988年からは世田谷区衛生部直轄の訪問指導事業による委嘱訪問看護や、企業の訪問看護・医療サービス事業等経て、大学に移り(2002～2010年)在宅看護学を担当しました。

訪問看護が今ほど認知されていなかった訪問指導事業の時代は、病院の医師達からは、訪問看護師に「何ができるのか」という目で見られたこともありましたが、1991年に看護師が開業できる画期的な制度が産声を上げました。これはまさに、看護の専門性と独自の技術が認められたということでしょう。

訪問看護は生活の場での看護であるため、看護の本領が発揮できる環境にあります。「患者に寄り添う看護」、「患者中心の看護」、「インフォームド・コンセント」というスローガンを耳にすると、病院の看護師はジレンマに陥ることも少なくありません。しかし、訪問看護師の実践はこれらをベースにして成り立っています。

Bon Courage
ぼん・くらーじゅ

また、訪問看護では看護師の能力がケアに直接反映されるため、常に看護の質が評価される厳しい場でもあります。そのため、日々、専門職としての研鑽と、人としての成長が要求されます。だからこそ、訪問看護の実践の中には看護の本質が詰まっており、本物だけがもつ輝きと魅力があるのだと思います。

これからも、地域の中で新たな仕組み作りを担うパイオニアの一人として、また、看護実践者のロールモデルとし皆さまの活躍を期待しています。

ナイチンゲールも次のように言い残しています。「地域看護婦はまず看護をしなければならない。地域看護婦は病院看護婦よりもさらに高度な学習を積み充分な訓練を受けなければならない。……(中略)……。究極の目的はすべての病人を家庭で看護することである。」(ナイチンゲール著作集第2巻p61～63、現代社)